

社会福祉法人 パール  
地域の方々と豊かな暮らしを創造する

社会福祉法人パール  
〒150-0035東京都渋谷区鉢山町3-27

電話 03-5458-4811

<https://www.shibuya-pearl.or.jp>

発行日 令和8年5月1日

発行人 新谷弘子 制作編集 入江祐介

# パールだより

## 5月号

パールが大切にしている基本三理念 一人間の尊厳 一人の尊重 共に生きる社会づくり

### 特別養護老人ホーム パール代官山



# お花見

## 外出しゅ



3月終わりと4月初旬の快晴時に満開の桜を觀に、西郷山公園や菅刈公園へ行ってきました。桜の木の下で記念写真📷利用者様は『わー！きれいねー』と笑顔満面でした！

菅刈公園の庭園ではつくしを見つけ、春の知らせを感じました。

帰りに目黒川を通ったときは、桜よりも人の多さに驚いていました（笑）

デイサービスセンター・パール鉢山

# 音楽プログラムを通じて 元気な毎日を！！



フラダンス&ハワイアン・ミュージック

**オルホア** 4月25日(土)



お馴染みの地域の名グループ！  
抜群のチームプレイで、生演奏と生  
ダンスを披露してくださいました。



銭太鼓

**なごみ THE 東京** 4月27日(月)



コロナ禍を経て、久しぶりお越し  
いただきました！

職員も特別参加し、賑やかなひと  
時を楽しませていただきました。

(敬称略)

# 第4回 世代間交流



## コンサート開催について

社会福祉法人 パール 理事長  
社会活動教育研究所 会長  
新谷 弘子

2008年3月、2009年6月、2014年6月の3回にわたり渋谷公会堂(旧ccレモンホール)にて開催された「世代間交流コンサート」です。渋谷区のご理解・ご協力をいただき、子供と高齢者と障害者や、学生など様々な世代の方々に、ご参加いただきました。いずれも好評で成功裏に終了することが出来ました。

続く「第4回世代間交流コンサート」も渋谷公会堂が新築オープンしたタイミングで2020年開催の予定で準備を進めていました。しかし、コロナの影響より残念ながら中止になってしまいました。コロナも少しずつ落ち着いて来た昨今、2026年の本年ようやく「世代間交流コンサート」の再開を望む声をいただき、ようやく「第4回世代間交流コンサート」の準備を始める運びとなりました。

コンサートの「カギ」の1つは、共に「集う」「歌」「合唱」にあると考えられます。お互いの立場を理解し、皆で支え合う温かい心を築きあげたいのです。昔懐かしい歌、皆知っている歌をオーケストラをバックにステージと客席の参加者と一緒に歌い、声の出ない方は、手拍子で参加し全員が一体となるのです。

今回の指揮者は日本女子大学の合唱団の森田悠介(ユウスケ)先生がリードして下さる事を了解して下さいました。色々な大学や高校、障害者施設のメンバー等、音楽家のプロの方々等、大活躍のプログラムです。率先して協力をお楽しみ下さいませ。

皆様のご支援、ご協力あつての「世代間交流コンサート」です。第4回世代間交流コンサート開催するに当たり地域の方々を始め、関係者の方々のご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。会場は渋谷区の「総合文化センター大和田・さくらホール」で開催する予定でございます。



# フレイル予防



栄養・調理センター  
栄養士 江守 由衣

フレイルとは、健康な状態から要介護状態へ移行する中間の段階とされています。具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもるなど、年齢を重ねたことで生じる衰え全般を指しています。

しかし、フレイルは適切な支援や対策をとることで健康な状態に戻ることができる時期ともされています。フレイルの状態や兆候を理解し、予防をしましょう。

## 身体的フレイルのセルフチェック

項目	評価基準
体重減少	6か月で、2～3kg以上の体重減少
筋力低下 握力	男性<26kg、女性<18kg
疲労感	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする、など
歩行速度	通常歩行速度<1.0m/秒
身体活動	(1) 軽い運動・体操をしていますか？ (2) 定期的な運動・スポーツをしていますか？ 上記の2つのいずれも「していない」と回答

以上のチェックリストに3項目以上当てはまる場合は、**フレイル**  
1項目でも当てはまる場合は **プレフレイル** とされています  
(フレイルの前段階)

フレイルとは、健康な状態から要介護状態へ移行する中間の段階とされています。具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもるなど、年齢を重ねたことで生じる衰え全般を指しています。

しかし、フレイルは適切な支援や対策をとることで健康な状態に戻ることができる時期ともされています。フレイルの状態や兆候を理解し、予防をしましょう。



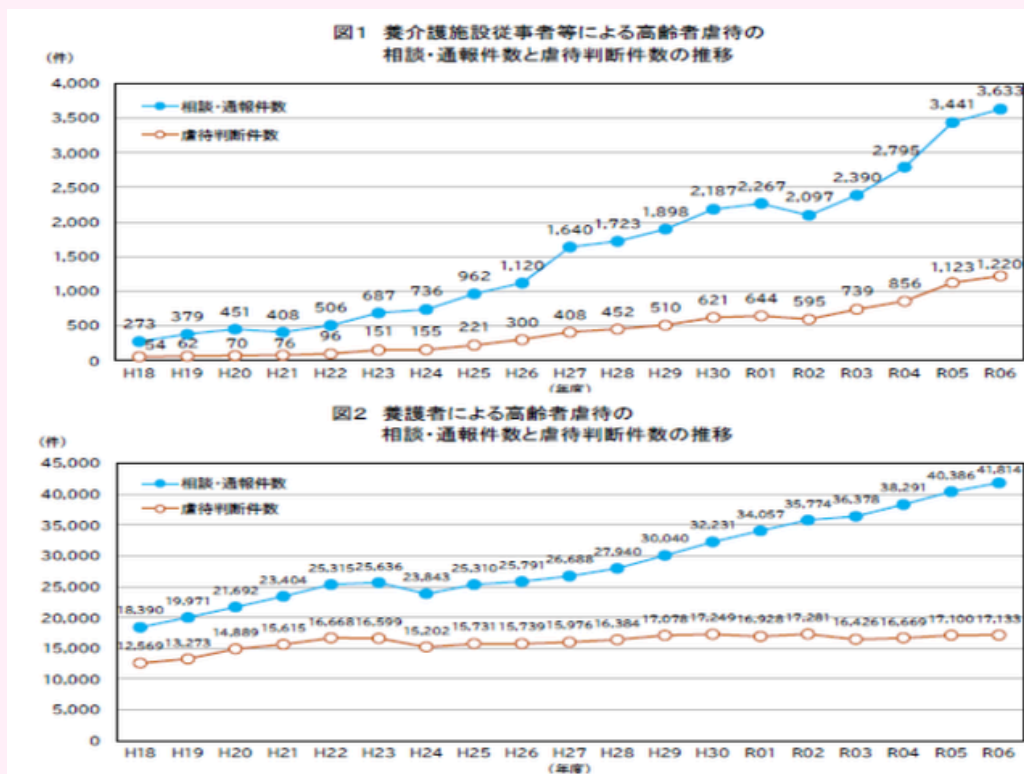
# 高齢者虐待防止（養介護施設従事者等） 身体拘束廃止への組織的な取り組み

特別養護老人ホーム パール代官山  
施設長 入江 祐介

「高齢者虐待防止法」に基づき、高齢者虐待の対応状況等を把握するため、厚生労働省が毎年調査を実施しています。調査データを基に最近の高齢者虐待、特に我々介護事業者による虐待発生状況及び防止に対する取り組みについて検討したいと思います。

## ■令和6年度 高齢者虐待判断件数

	養介護施設従事者等によるもの		養護者によるもの	
	虐待判断件数	相談・通報件数	虐待判断件数	相談・通報件数
令和6年度	1,220件	3,633件	17,133件	41,814件
令和5年度	1,123件	3,441件	17,100件	40,386件
令和4年度	856件	2,795件	16,669件	38,291件
令和3年度	739件	2,390件	16,426件	36,378件
令和2年度	595件	2,097件	17,281件	35,774件
令和元年度	644件	2,267件	16,928件	34,057件
平成30年度	621件	2,187件	17,249件	32,231件
平成29年度	510件	1,898件	17,078件	30,040件
平成28年度	452件	1,723件	16,384件	27,940件
平成27年度	408件	1,640件	15,976件	26,688件
平成26年度	300件	1,120件	15,739件	25,791件
平成25年度	221件	962件	15,731件	25,310件
平成24年度	155件	736件	15,202件	23,843件
対前年 増減率	97件 8.6%	192件 5.6%	33件 0.2%	1,428件 3.5%



虐待件数では、圧倒的に養護者（家族等）が多い。要介護施設従事者・養護者共に虐待件数が年々増加傾向（過去最多で4年連続増加）。虐待件数が増えた背景には、慢性的な人手不足や組織風土（不適切ケア・身体拘束）、個人の資質低下などが考えられるが、**関係者の意識が高まり、通報・相談件数が増えたとも言える。**

## ■養介護施設従事者等による高齢者虐待

① 虐待の発生要因（虐待を行った職員の課題） ※複数回答

1位（75.9%）＝「虐待や権利擁護、身体拘束に関する知識・認識不足」

2位（64.3%）＝「倫理感や理念の欠如」

3位（62.5%）＝「ストレスや感情コントロールの問題」

4位（62.0%）＝「性格や資質の問題」

5位（58.8%）＝「介護や認知症ケアに対する知識・技術不足」

6位（40.9%）＝「業務負担の大きさ」

7位（11.6%）＝「処遇への不満」 8位（2.3%）＝「その他」

※上記の結果からも、法定研修を受講し、正しい知識・技術の習得とアンガーマネジメントが重要。



② 虐待の事実が認められた施設・事業所の種別

1位（28.9%）＝特別養護老人ホーム（352件） 2位（28.4%）＝介護付有料老人ホーム（346件）

3位（14.8%）＝グループホーム（181件） 4位（10.2%）＝介護老人保健施設（114件）

※施設の数に比例しての結果であり、誤解がないように注意。

③ 虐待の内容

1位（51.1%）＝「身体的虐待」 2位（27.7%）＝「心理的虐待」 3位（25.7%）＝「介護等放棄」

4位（10.3%）＝「経済的虐待」 5位（3.4%）＝「性的虐待」

※高齢者の死亡事例は6件（6人）であった。

④ 職種

介護職81.3%、看護師7.9%、施設長が2.6%、管理職2.4%、性別では男性（53.5%）>女性（43.6%）

※「介護職＝悪い」のではなく、職种的に一番人数が多いからの結果。

⑤ 被虐待高齢者の状況

全体の約7割が女性。要介護3・4・5の方が全体の74.3%、認知症自立度II以上が75.3%となっている。

⑥ 通報者

当該施設職員27.4%、当該施設管理者18.2%、家族・親族14.6%、当該施設元職員8.6%、本人2.5%

## ■高齢者虐待防止への組織的な取り組み

上記の結果からも分かるように、専門職による高齢者虐待は、①職員個人の資質向上と②組織としての取り組みをセットで実施していくことが重要であることが分かる。また、特別養護老人ホームでの虐待件数が一番多いことから、当該事業を実施する法人はより注意が必要であり、組織的な取り組みが重要となってきます。養介護施設従事者等（施設・在宅サービス従事者）は、自分の職場で虐待？と思われる事案を発見した場合、『重大な危機の有無に関わらず、**通報義務（≠努力義務）**』があります。

では、なぜ介護現場での虐待が発生するのか？誰もが高い志と優しい気持ちを持って働いていたはず…。①意図的ではないが結果として不適切なケア実施の蓄積（グレーゾーン）、②慢性的な人手不足（時間に追われる）、③入所者の重度化（認知症）、④育児と異なり目に見える成果より悪化する一方、⑤精神的なストレス増加、⑥誰にも見られていない環境要因（夜勤帯・ユニットケア等）など、幾つかあげられるかと思えます。

我が施設は大丈夫と誰もが思うところでしょうが、定期的な研修の実施や環境改善、職員への精神的サポート、日頃から職員同士で注意し合うことも大切。背景となる要因は何かを考え、組織として予防策を立案、個々人が意識して取り組むことと、不適切では？と思ったら、職員同士で話せる環境づくりが重要です。

■高齢者虐待防止へのポイント

**職員の業務管理**・・・管理者が職員1人ひとりの業務内容、負担やストレスを把握し、定期的に話し合う機会を設ける。

**職員教育の徹底**・・・定期的に虐待防止・身体拘束廃止に関する外部・内部研修を実施・受講させる。ケアになぜ倫理観が必要かの理解、組織のコンプライアンスを周知。

**チームの質向上**・・・チームケアの視点、ヒヤリハットの活用、連携の目的は良質なケア提供、おかしい？と感じたら職員同士で注意し合える職場環境を確保。

**ケアの資質向上**・・・認知症ケアに対する理解、科学的根拠に基づいたケア、1人ひとりに合わせたケアの提供（個別ケア）。

**透明性の確保**・・・地域に開けた施設として常に事業運営の透明性を確保すること。

■身体拘束との関係

緊急やむを得ない場合を除いて、身体拘束は原則すべての高齢者虐待に該当。  
不適切な介護＝グレーゾーン排除への取り組みが、虐待防止＆身体拘束ゼロへ繋がる！

■グレーゾーンに注意！！

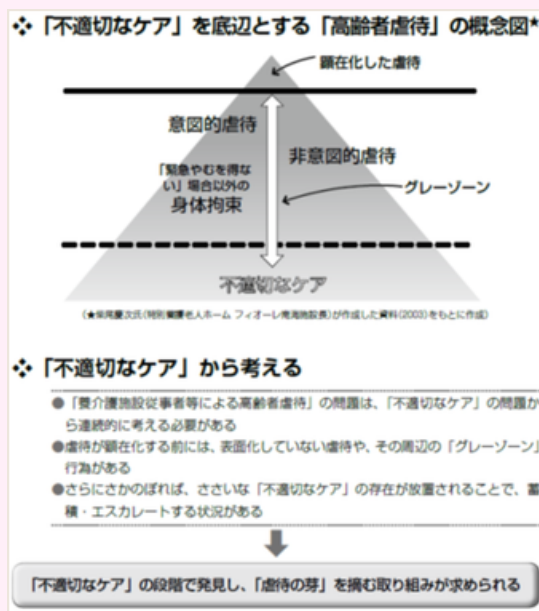
<これって虐待？>

- 同じ話を繰り返すご利用者をついつい無視、「ちょっと待って」「立たないで！」の言動。  
⇒スピーチロック（言葉の拘束）
- 食事一部介助のご利用者に対し、時間に追われるため全介助してしまう。
- 転落防止のため、四方をベッド柵で囲う。
- 点滴チューブを抜かないよう、ミトンをつける。
- 立ち上がらないよう、低いソファに座ってもらう。
- オムツいじりがあるので、つなぎ服を着せる。
- みてみぬふり・・・。
- 「○○ちゃん」など、不適切な呼び方。

※参考データ

厚生労働省ホームページ

令和6年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果



4月行事予定			4月業務実績報告		
1	日	パール創立記念日	施設介護稼働率	特養	99.7 %
5	日	特養おやつバイキング(厨房)		短期入所	95.3 %
7	火	経営会議・品質会議・カットボラ(特養) ケアマネ会議(居宅)・カンファ(訪看)(用具)	通所介護稼働率	一般クラス	73.2 %
8	水	サービス提供責任者会議(Pケア) 渋谷看護連絡協議会(訪看)		認知クラス	54.2 %
12	日	特養おやつバイキング(厨房)	訪問介護 1日平均利用件数	本部	42 件
14	火	人事採用・育成会議・ケアカンファ ケアマネ会議(居宅)・カンファ(用具)		原宿	14 件
15	水	主任会議(特養)・創傷、排便ケア看護研修(訪看)	訪問看護 1日平均利用件数		11 件
16	木	オレンジカフェ<虹の会>(居宅)	居宅介護支援 実績件数	本部	124 件
19	日	特養おやつバイキング		恵比寿	93 件
21	火	経営会議・経営戦略会議・品質会議 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(用具)(訪看)		原宿	116 件
22	水	医務会議(特養)	福祉用具 貸与者数		126 件
24	金	新人歓迎会・サービス担当者会議(特養) 在宅カンファ(Pケア)	配食サービス 1日平均利用食数		107 食
26	日	特養おやつバイキング	キッチンパール		4 食
28	火	事業所間連携会議・ケアカンファ ケアマネ会議(居宅)・カンファ(用具)			
30	木	福社会計(決算)			

# フェット・ドラ・ミュージック 2026

★ 日 時：令和8年6月7日（日）

★ 場 所：ヒルサイド・バンケット



**パールライフ**

**今年も出演します！**

**コーラスグループ**

12：50 パールライフ音楽グループ

13：10 清水映子&新井宏水（パールライフ講師）



**どうぞ応援にお越しく下さい♪**